

2017年1月12日

2020年度末までに新たに8駅、2021年度以降にさらに23駅

ホームドアの整備を積極的に推進します

～あわせて内方線付き点状ブロックの整備を推進～

東武鉄道株式会社

東武鉄道（本社：東京都墨田区）では、お客様により安全に安心して駅ホームをご利用いただけるよう、すでにホームドアを3駅に整備していますが、2020年度末までに新たに8駅、2021年度以降にさらに23駅にホームドアを整備します。

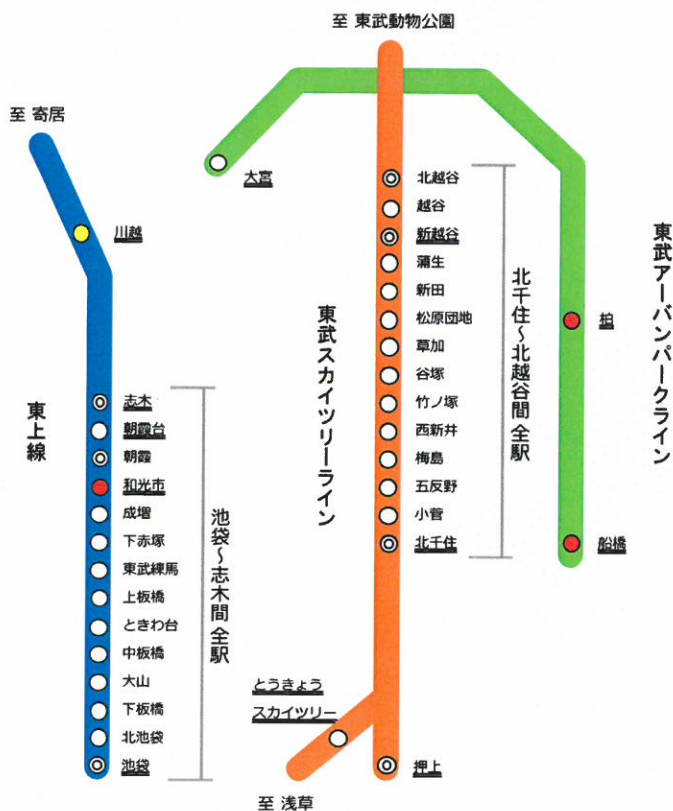
これは2016年12月に国土交通省から示された「駅ホームにおける安全性向上のための検討会（中間とりまとめ）」の整備方針に則り行うもので、ホームドアの優先的な整備が求められる1日のご利用者数10万人以上の駅に加え、2020年開催の東京オリンピック・パラリンピックの競技会場最寄駅（予定）においてホームドアの整備を優先的に推進するほか、当社線で特にご利用者数の多い東武スカイツリーライン 北千住～北越谷間、東上線 池袋～志木間においてホームドアのエリア整備も推進していきます。

また、内方線付き点状ブロック整備駅拡大も進め、駅ホームのさらなる安全性向上を図ります。

なお、整備にあたっては、国、関係自治体のご支援のもと、鋭意進めてまいります。

概要は別紙のとおりです。

以上



△ ホームドア（和光市駅）

※お問い合わせは、東武鉄道お客さまセンター ☎03-5962-0102

ホームドア等の整備について

1 ホームドアの整備について

(1) 2020年度末までの整備駅：8駅

【東武スカイツリーライン】

押上 (※2)、北千住 (5・6・7番ホーム) (※2)、新越谷、北越谷 (※3)

【東上線】

池袋、朝霞 (※3)、志木、川越 (※4)



△ ホームドア (和光市駅)

(2) 2021年度以降の整備駅：23駅

【東武スカイツリーライン】

とうきょうスカイツリー、北千住 (1・2・3・4番・特急ホーム) (※5)、小菅、五反野、梅島、西新井、竹ノ塚、谷塚、草加、松原団地、新田、蒲生、越谷

【東武アーバンパークライン】

大宮

【東上線】

北池袋、下板橋、大山、中板橋、ときわ台、上板橋、東武練馬、下赤塚、成増、朝霞台

※1…下線は1日のご利用者10万人以上の駅(2015年度実績)

※2…東京メトロ共同使用駅

※3…東京オリンピック・パラリンピック 競技会場最寄駅(予定)

※4…川越駅は2017年度に整備予定

※5…北千住駅は2020年度末までの整備駅として計上

2 内方線付き点状ブロックの整備について

内方線付き点状ブロックについては、1日のご利用者数1万人以上の駅について順次整備を進めており、2015年度末時点で99駅中56駅の整備を完了しています(整備率56%)。

今後、2018年度を目標に、1日のご利用者数1万人以上の全99駅に内方線付き点状ブロックを整備いたします。



△ 内方線付き点状ブロック (イメージ)

以上